

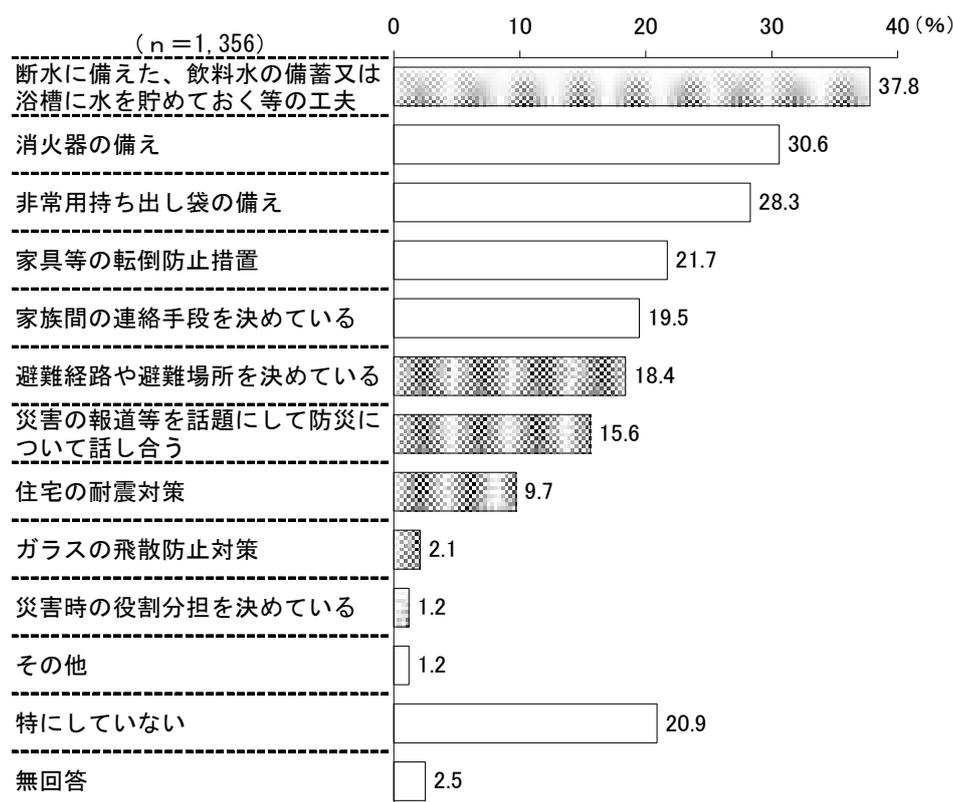
5 東日本大震災を経験しての県民の防災意識について

(1) 災害対策の実施状況

問17 あなたの家庭では、災害に対してどのような備えをしていますか。
次の中からいくつでも選んでください。

[n=1,356]

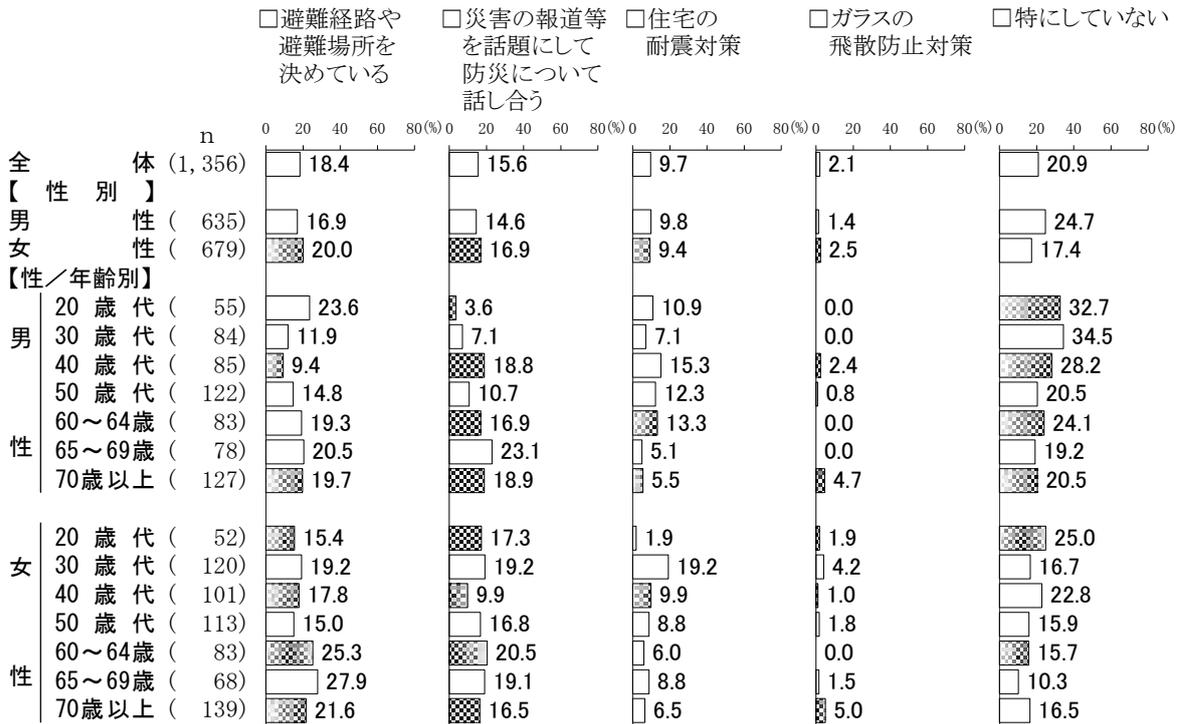
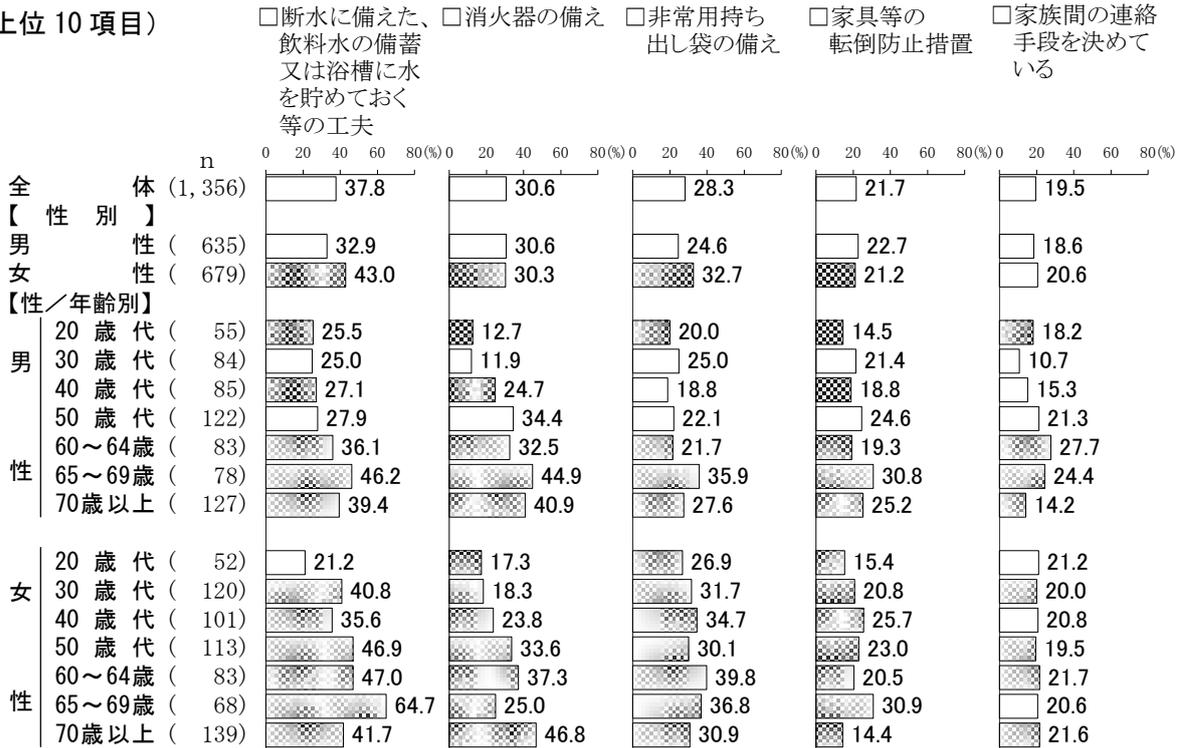
1 消火器の備え	30.6%	7 家族間の連絡手段を決めている	19.5%
2 断水に備えた、飲料水の備蓄又は浴槽に水を貯めておく等の工夫	37.8	8 ガラスの飛散防止対策	2.1
3 非常用持ち出し袋の備え	28.3	9 住宅の耐震対策	9.7
4 家具等の転倒防止措置	21.7	10 災害時の役割分担を決めている	1.2
5 避難経路や避難場所を決めている	18.4	11 その他	1.2
6 災害の報道等を話題にして防災について話し合う	15.6	12 特にしていない	20.9
		(無回答)	2.5



全体で見ると、「断水に備えた、飲料水の備蓄又は浴槽に水を貯めておく等の工夫」(37.8%)が4割近くで最も高く、次いで「消火器の備え」(30.6%)、「非常用持ち出し袋の備え」(28.3%)、「家具等の転倒防止措置」(21.7%)、「家族間の連絡手段を決めている」(19.5%)の順となっている。一方、「特にしていない」(20.9%)はほぼ2割となっている。

[性別・性/年齢別]

(上位 10 項目)

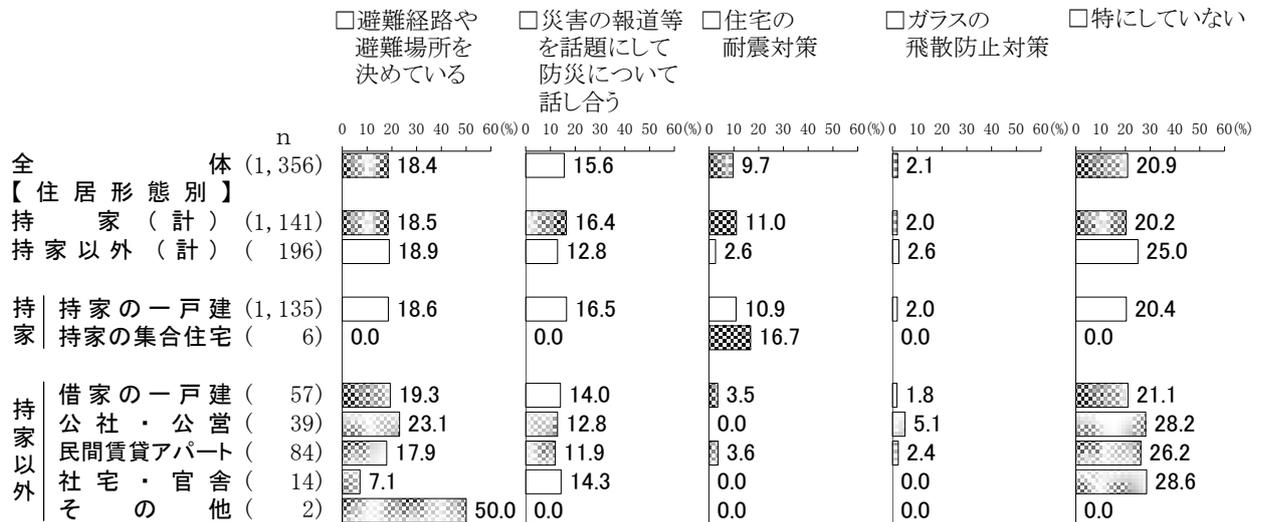
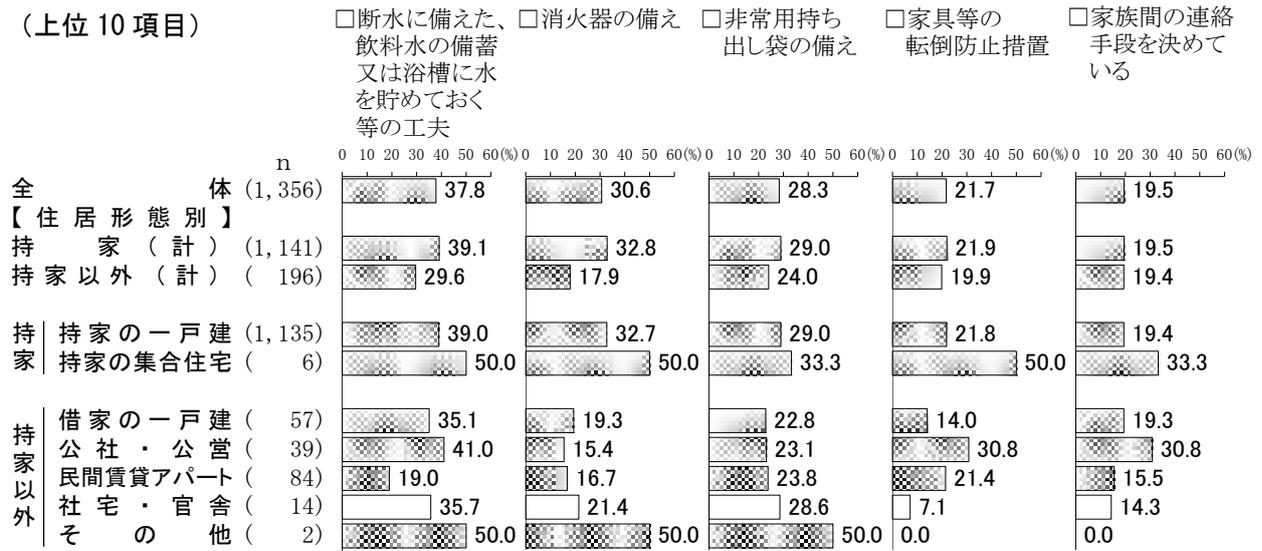


性別でみると、「断水に備えた、飲料水の備蓄又は浴槽に水を貯めておく等の工夫」では〈女性〉(43.0%)が〈男性〉(32.9%)より10.1ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、「断水に備えた、飲料水の備蓄又は浴槽に水を貯めておく等の工夫」では〈女性65~69歳代〉が64.7%、「消火器の備え」では〈女性70歳以上〉が46.8%、「非常用持ち出し袋の備え」では〈女性60~64歳〉が39.8%と高くなっている。

[住居形態別]

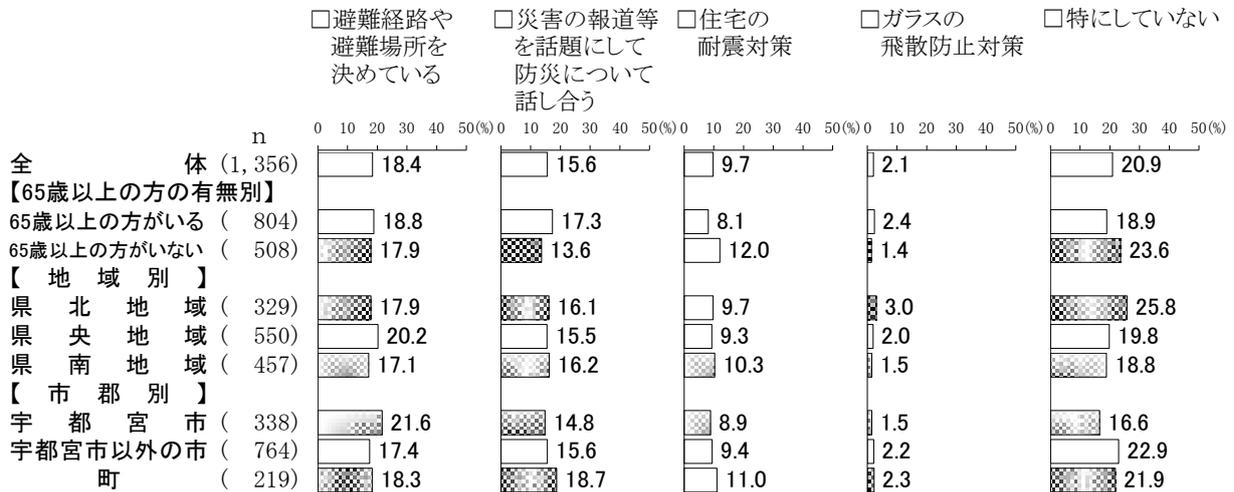
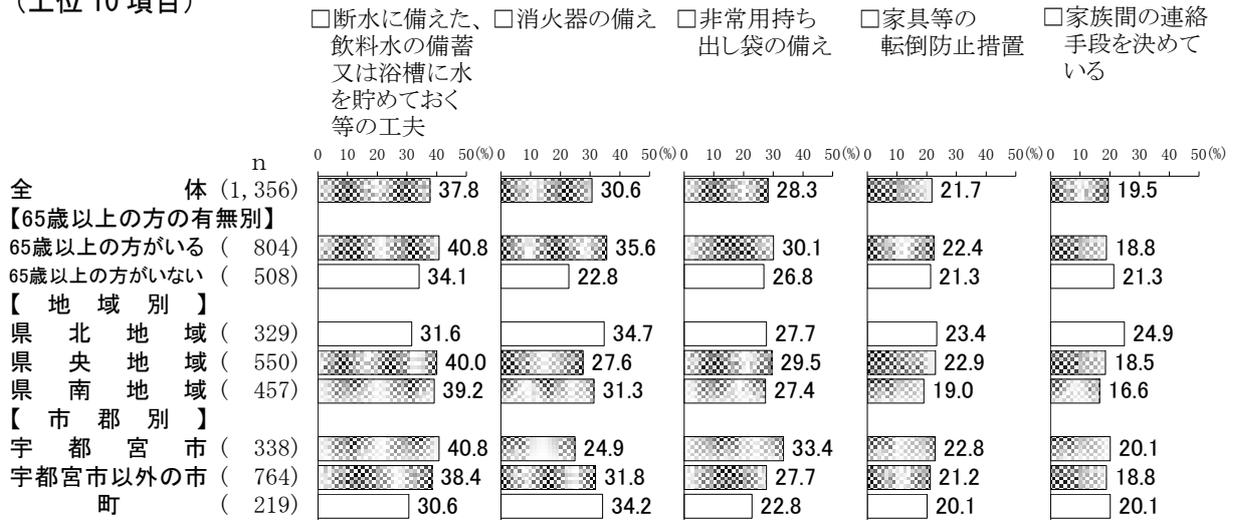
(上位 10 項目)



住居形態別でみると、「消火器の備え」では〈持家 (計)〉 (32.8%) が〈持家以外 (計)〉 (17.9%) より 14.9 ポイント高く、「断水に備えた、飲料水の備蓄又は浴槽に水を貯めておく等の工夫」では〈持家 (計)〉 (39.1%) が〈持家以外 (計)〉 (29.6%) より 9.5 ポイント高くなっている。

【65歳以上の方の有無別・地域別・市郡別】

(上位10項目)



65歳以上の方の有無別で見ると、「消火器の備え」では〈65歳以上の方がいる〉(35.6%)が〈65歳以上の方がいない〉(22.8%)より12.8ポイント高く、「断水に備えた、飲料水の備蓄又は浴槽に水を貯めておく等の工夫」では〈65歳以上の方がいる〉(40.8%)が〈65歳以上の方がいない〉(34.1%)より6.7ポイント高くなっている。

地域別で見ると、「断水に備えた、飲料水の備蓄又は浴槽に水を貯めておく等の工夫」では〈県央地域〉(40.0%)や〈県南地域〉(39.2%)に比べて、〈県北地域〉(31.6%)で割合が低くなっている。

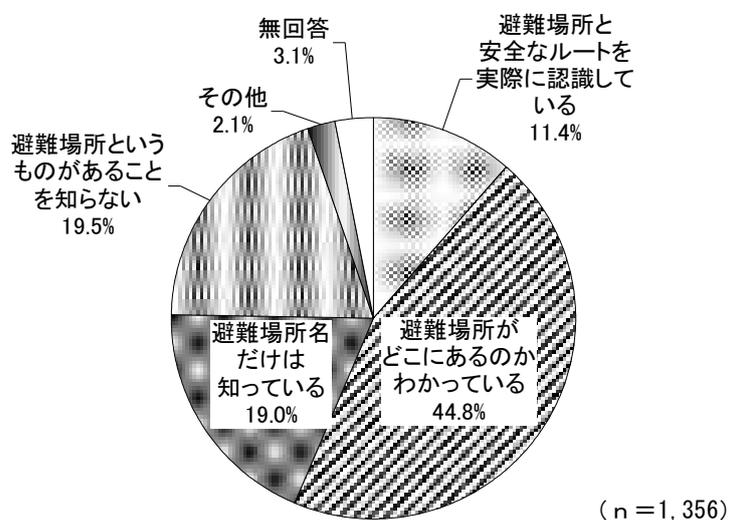
市郡別で見ると、「断水に備えた、飲料水の備蓄又は浴槽に水を貯めておく等の工夫」では〈宇都宮市〉(40.8%)や〈宇都宮市以外の市〉(38.4%)に比べて、〈町〉(30.6%)で割合が低くなっている。「消火器の備え」では〈町〉(34.2%)や〈宇都宮市以外の市〉(31.8%)に比べて、〈宇都宮市〉(24.9%)で割合が低くなっている。「非常用持ち出し袋の備え」では〈宇都宮市〉が33.4%と高くなっている。

(2) 指定避難場所の認知度

問18 あなたは、大規模災害時に避難することになっている指定避難場所についての程度ご存じですか。次の中から1つ選んでください。

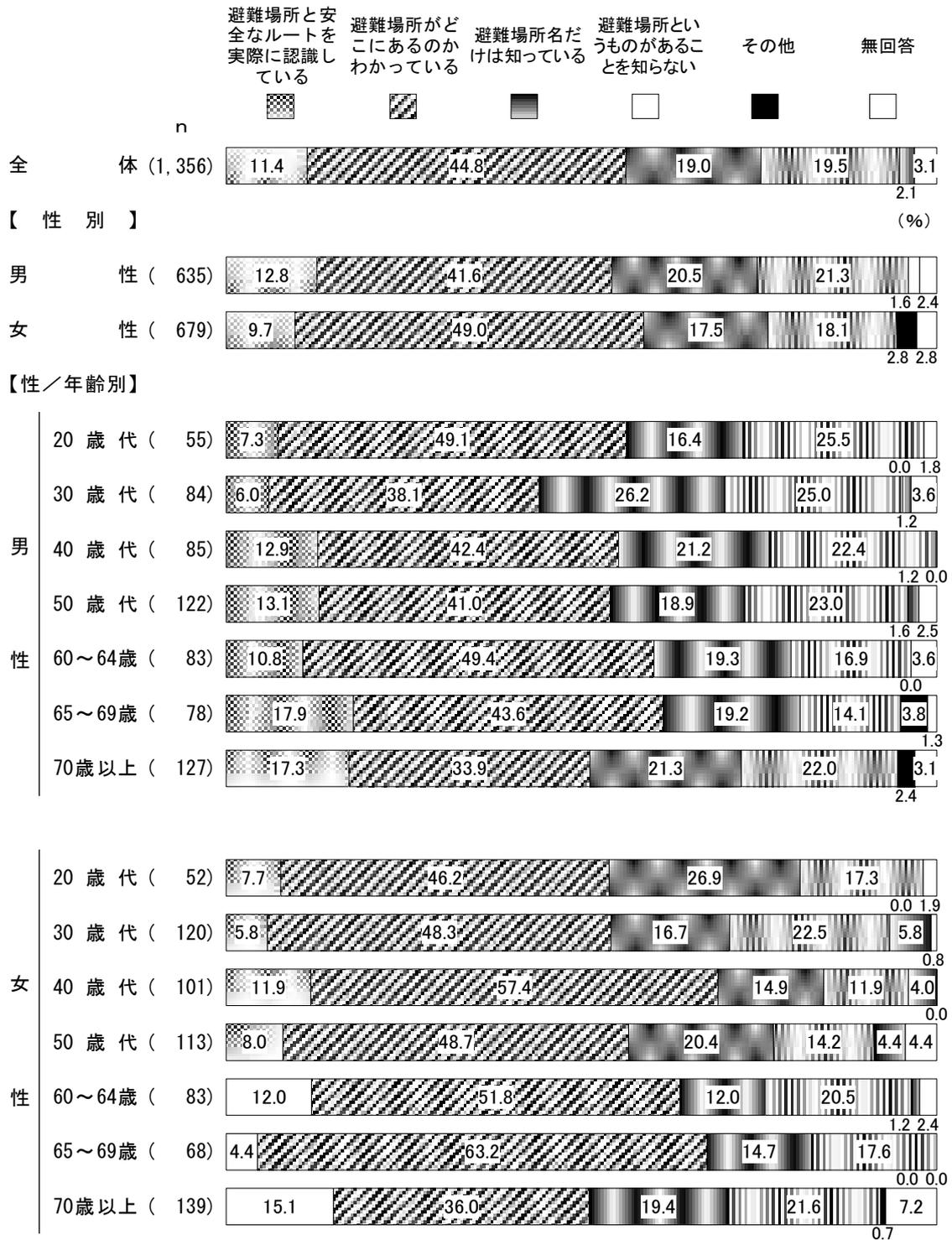
[n=1,356]

1 避難場所と安全なルートを実際に認識している	11.4%
2 避難場所がどこにあるのかわかっている	44.8
3 避難場所名だけは知っている	19.0
4 避難場所というものがあることを知らない	19.5
5 その他	2.1
(無回答)	3.1



全体でみると、「避難場所と安全なルートを実際に認識している」(11.4%)が1割を超えており、「避難場所がどこにあるのかわかっている」(44.8%)は4割半ばとなっている。また、「避難場所名だけは知っている」(19.0%)と「避難場所というものがあることを知らない」(19.5%)はともにほぼ2割である。

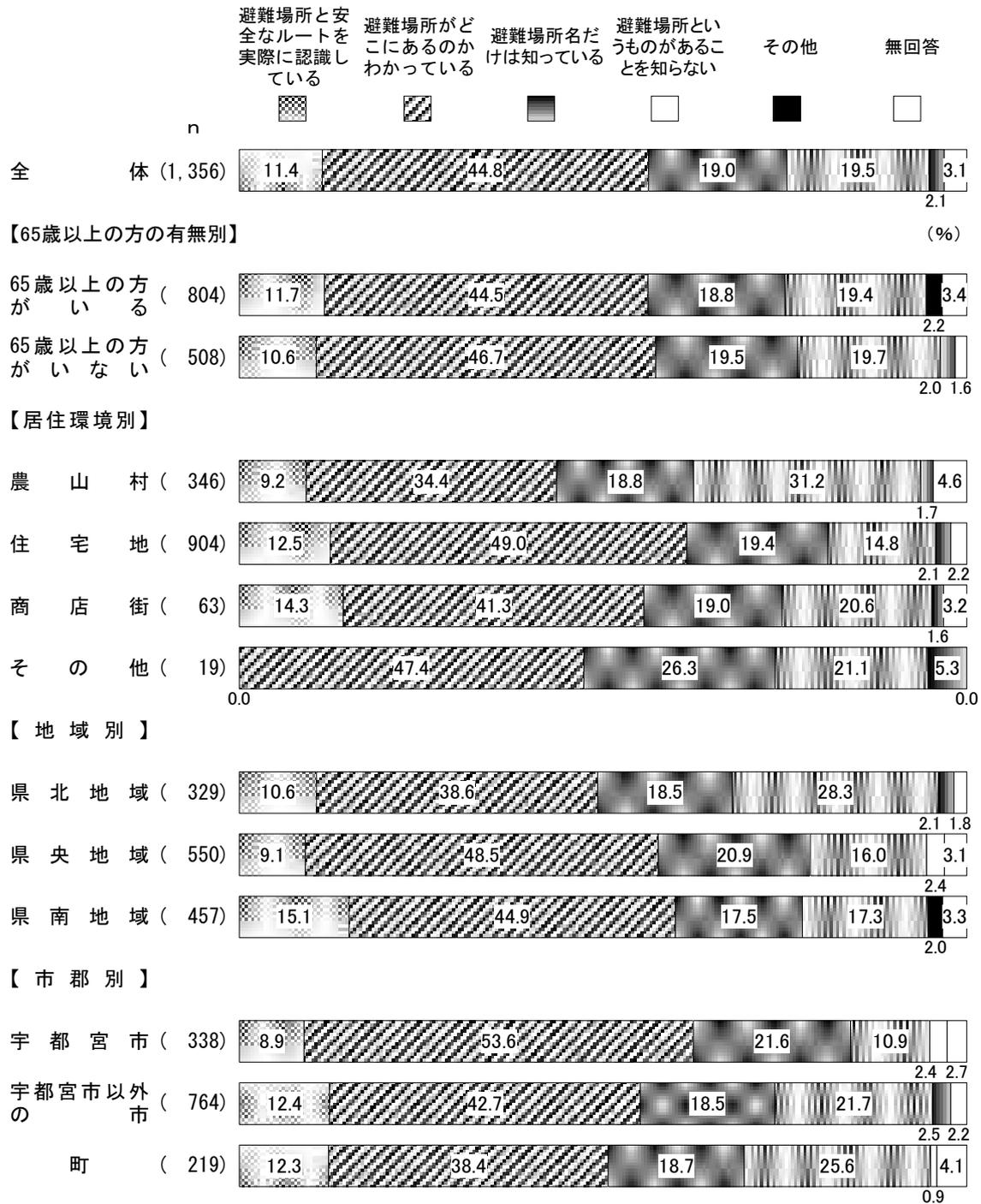
[性別・性／年齢別]



性別でみると、「避難場所名だけは知っている」では〈男性〉(20.5%)が〈女性〉(17.5%)より3.0ポイント、「避難場所というものがあることを知らない」では〈男性〉(21.3%)が〈女性〉(18.1%)より3.2ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「避難場所と安全なルートを実際に認識している」では〈男性 65～69歳〉が17.9%、〈男性 70歳以上〉が17.3%と他の年代に比べて高くなっている。「避難場所というものがあることを知らない」では〈男性 20歳代〉が25.5%、〈男性 30歳代〉が25.0%と高くなっている。

[65歳以上の方の有無別・居住環境別・地域別・市郡別]



65歳以上の方の有無別で見ると、ほぼ同じ傾向となっている。

居住環境別で見ると、「避難場所というものがあることを知らない」では〈農山村〉が31.2%と他の居住環境に比べて高くなっている。

地域別で見ると、「避難場所というものがあることを知らない」では〈県北地域〉が28.3%と他の地域に比べて高くなっている。

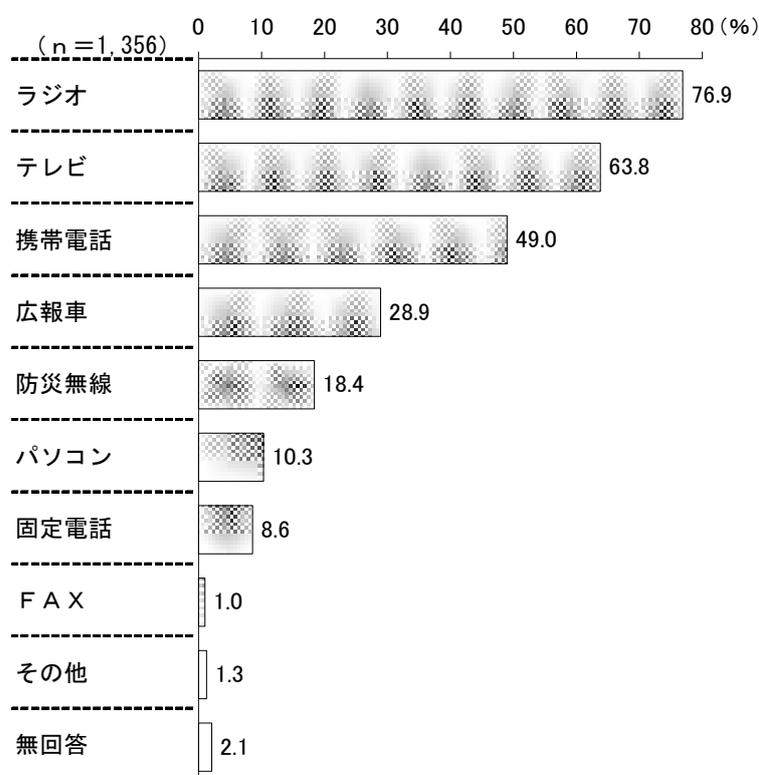
市郡別で見ると、「避難場所というものがあることを知らない」では〈町〉が25.6%と宇都宮市、宇都宮市以外の市より高くなっている。

(3) 緊急時に利用する情報入手手段

問19 あなたは、東日本大震災の経験から、緊急時に情報を得る手段としてどのような手段が有効であるとお考えですか。次の中からいくつでも選んでください。

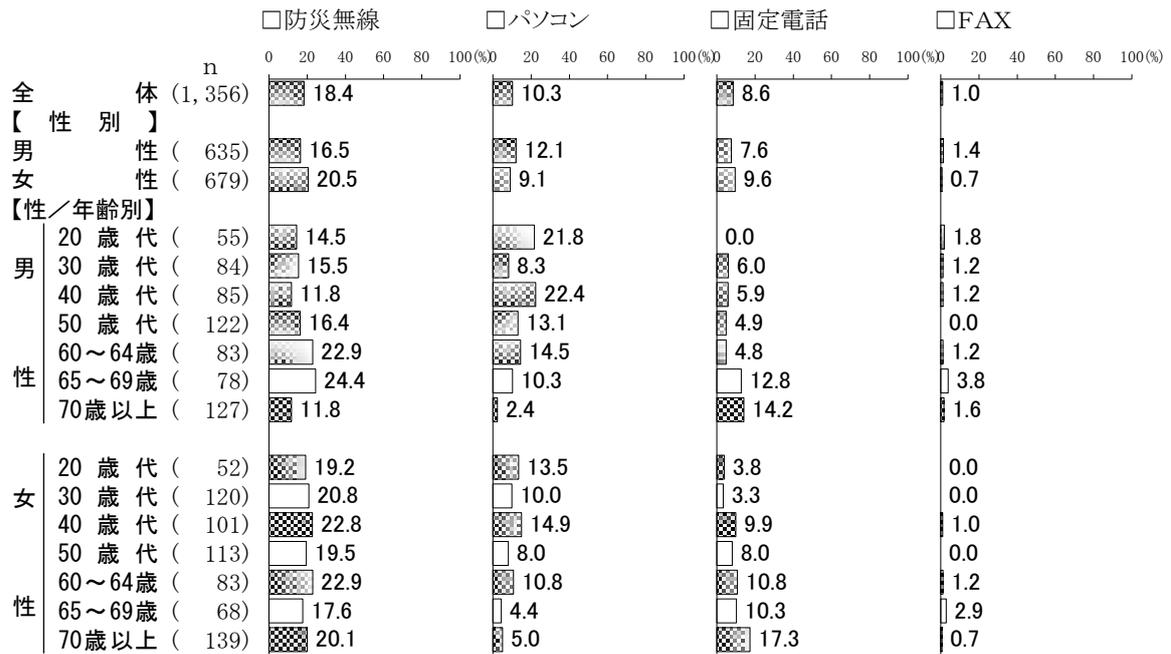
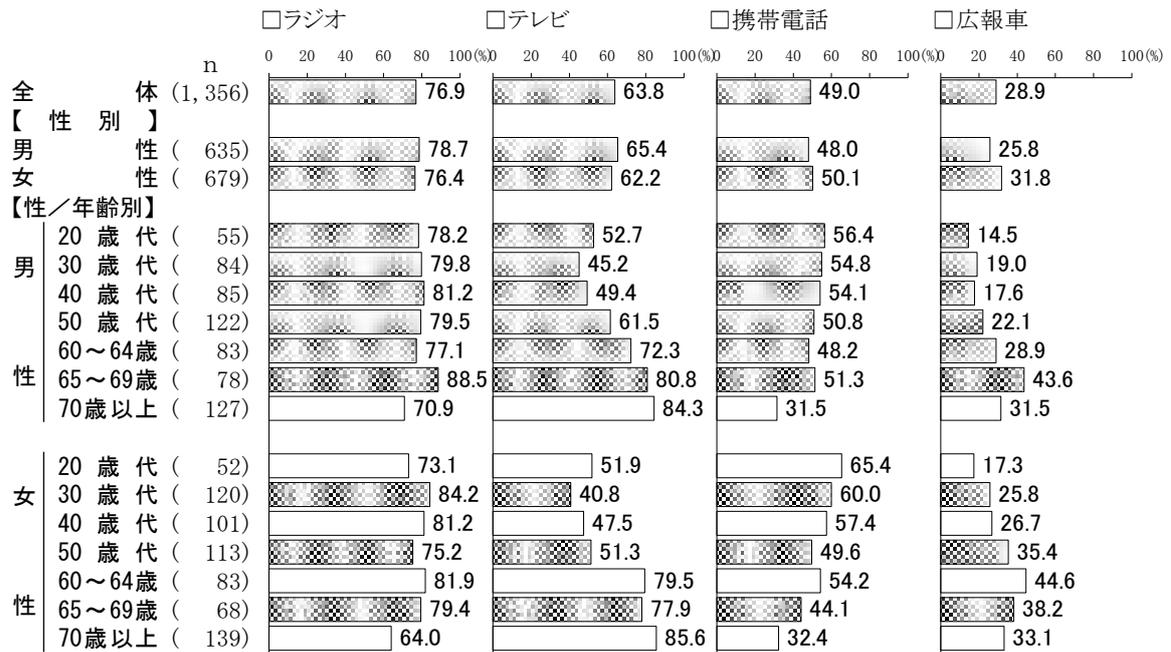
[n=1,356]

1	テレビ	63.8%	6	固定電話	8.6%
2	ラジオ	76.9	7	F A X	1.0
3	防災無線	18.4	8	パソコン	10.3
4	広報車	28.9	9	その他	1.3
5	携帯電話	49.0		(無回答)	2.1



全体で見ると、「ラジオ」(76.9%)が8割近くで最も高く、次いで「テレビ」(63.8%)、「携帯電話」(49.0%)、「広報車」(28.9%)、「防災無線」(18.4%)、「パソコン」(10.3%)、「固定電話」(8.6%)の順となっている。

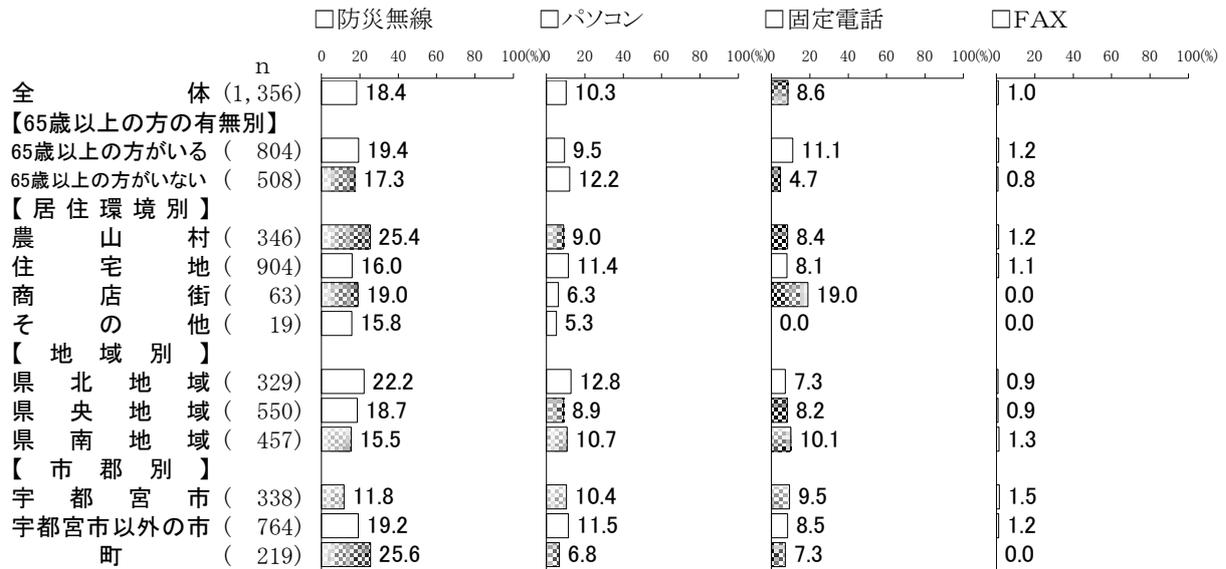
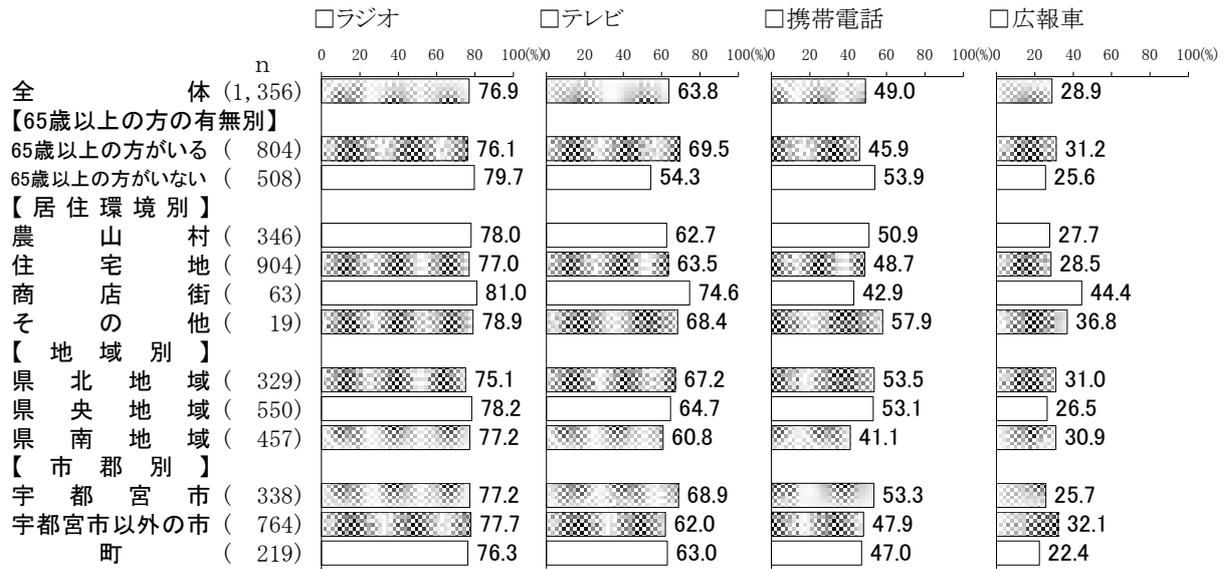
[性別・性／年齢別]



性別でみると、「広報車」では〈女性〉(31.8%)が〈男性〉(25.8%)より6.0ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「テレビ」では〈男女とも60~64歳以上の年代〉が7割から8割半ばと高くなっている。「携帯電話」では〈女性20歳代〉が65.4%と高くなっている。また、「広報車」では〈女性60~64歳〉が44.6%、〈男性65~69歳〉が43.6%と高くなっている。

[65歳以上の方の有無別・居住環境別・地域別・市郡別]



65歳以上の方の有無別でみると、「テレビ」では〈65歳以上の方がいる〉(69.5%)が〈65歳以上の方がいない〉(54.3%)より15.2ポイント高く、「携帯電話」では〈65歳以上の方がいない〉(53.9%)が〈65歳以上の方がいる〉(45.9%)より8.0ポイント高くなっている。

居住環境別でみると、「テレビ」では〈商店街〉が74.6%、「広報車」では〈商店街〉が44.4%、「防災無線」では〈農山村〉が25.4%と他の居住環境に比べて高くなっている。

地域別でみると、「携帯電話」では〈県北地域〉(53.5%)や〈県央地域〉(53.1%)に比べて、〈県南地域〉(41.1%)で割合が低くなっている。

市郡別でみると、「テレビ」では〈宇都宮市〉(68.9%)、「携帯電話」では〈宇都宮市〉(53.3%)、「広報車」では〈宇都宮市以外の市〉(32.1%)、「防災無線」では〈町〉(25.6%)で高くなっている。

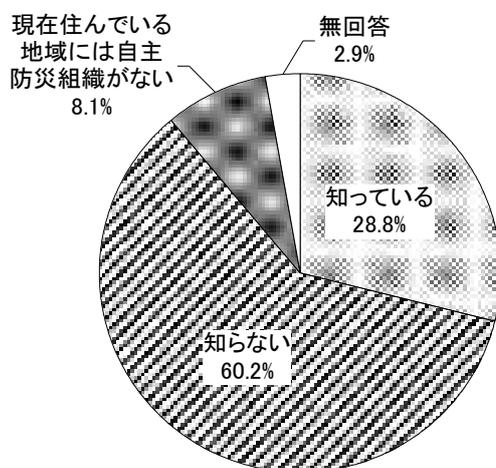
(4) 自主防災組織の認知度

問20 あなたは、自主防災組織（※）について知っていますか。次の中から1つ選んでください。

※自主防災組織とは、自治会・町内会などを母体とした、地域住民が防災活動をする組織をいいます。

[n=1,356]

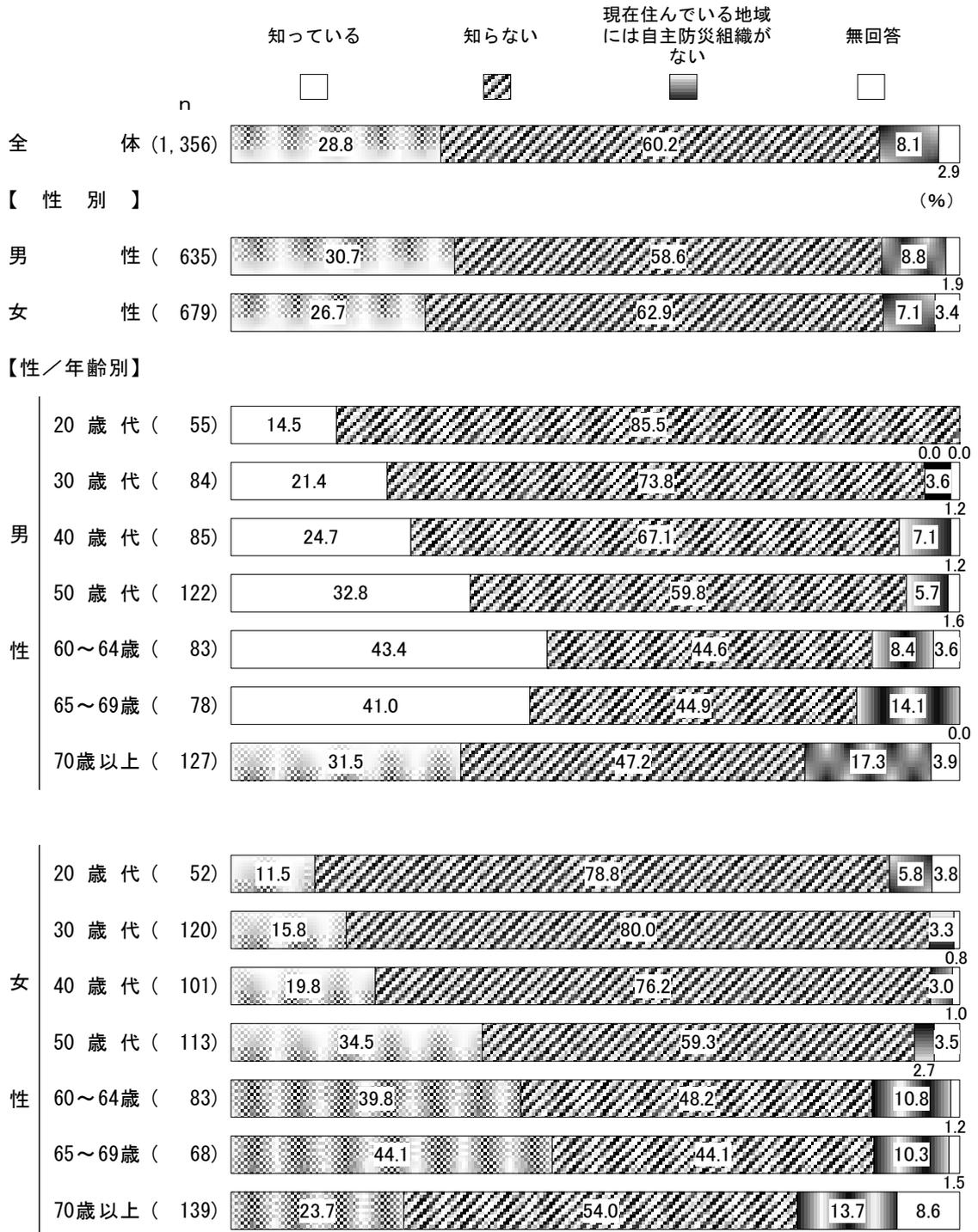
1 知っている	28.8%
2 知らない	60.2
3 現在住んでいる地域には自主防災組織がない	8.1
(無回答)	2.9



(n=1,356)

全体で見ると、「知っている」(28.8%)は3割近くで、「知らない」(60.2%)は6割となっている。また、「現在住んでいる地域には自主防災組織がない」(8.1%)は1割近くである。

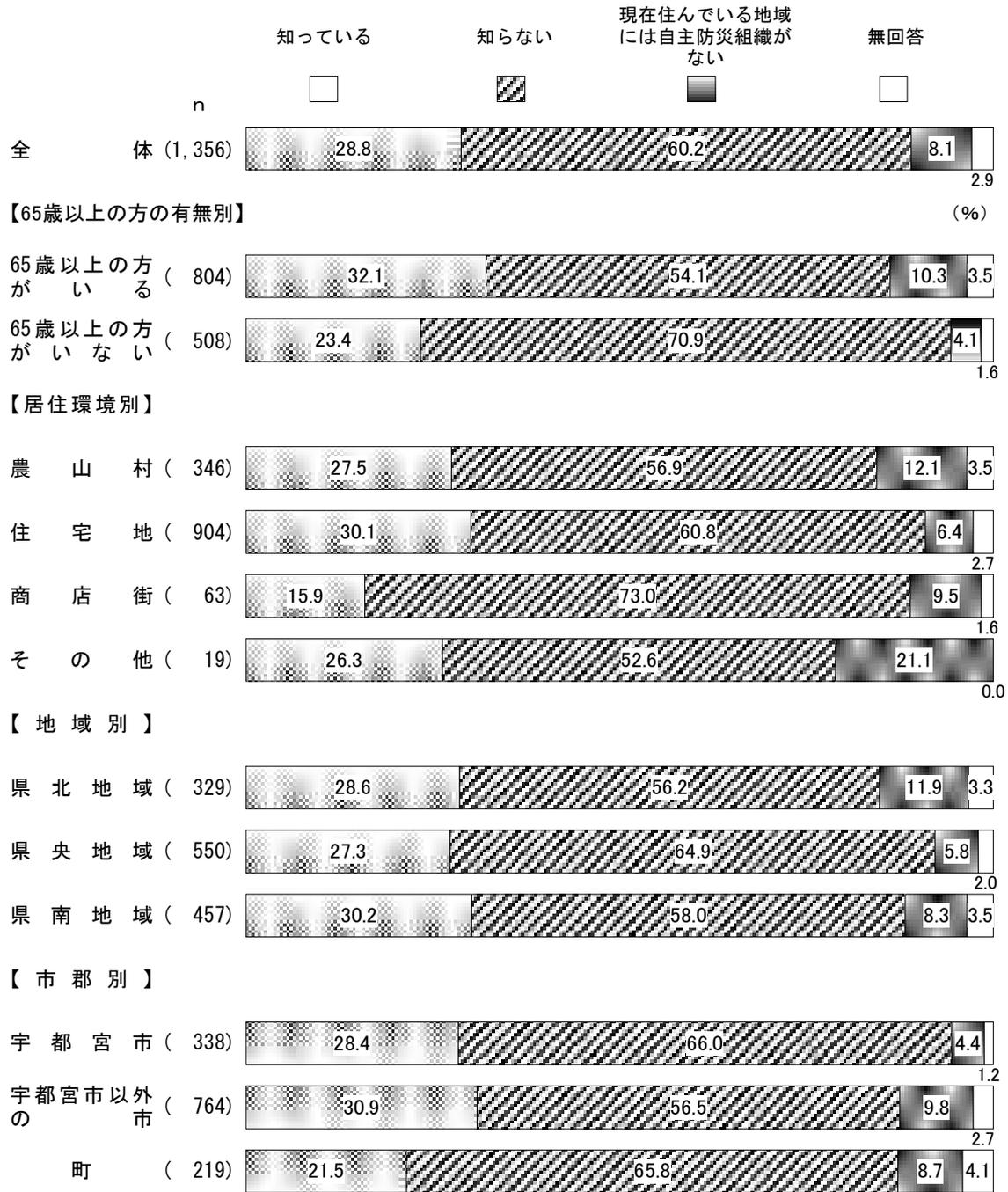
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、「知っている」では〈男性〉(30.7%)が〈女性〉(26.7%)より4.0ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「知っている」では〈女性 65~69歳〉が44.1%、〈男性 60~64歳〉が43.4%、〈男性 65~69歳〉が41.0%と高くなっている。一方、〈女性 20歳代〉が11.5%、〈男性 20歳代〉が14.5%、〈女性 30歳代〉が15.8%と低くなっている。

[65歳以上の方の有無別・居住環境別・地域別・市郡別]



65歳以上の方の有無別で見ると、「知っている」では〈65歳以上の方がいる〉(32.1%)が〈65歳以上の方がいない〉(23.4%)より8.7ポイント高くなっている。

居住環境別で見ると、「知っている」では〈住宅地〉(30.1%)や〈農山村〉(27.5%)に比べて、〈商店街〉(15.9%)で割合が低くなっている。

地域別で見ると、大きな傾向の違いはみられない。

市郡別で見ると、「知っている」では〈宇都宮市以外の市〉(30.9%)や〈宇都宮市〉(28.4%)に比べて、〈町〉(21.5%)で割合が低くなっている。

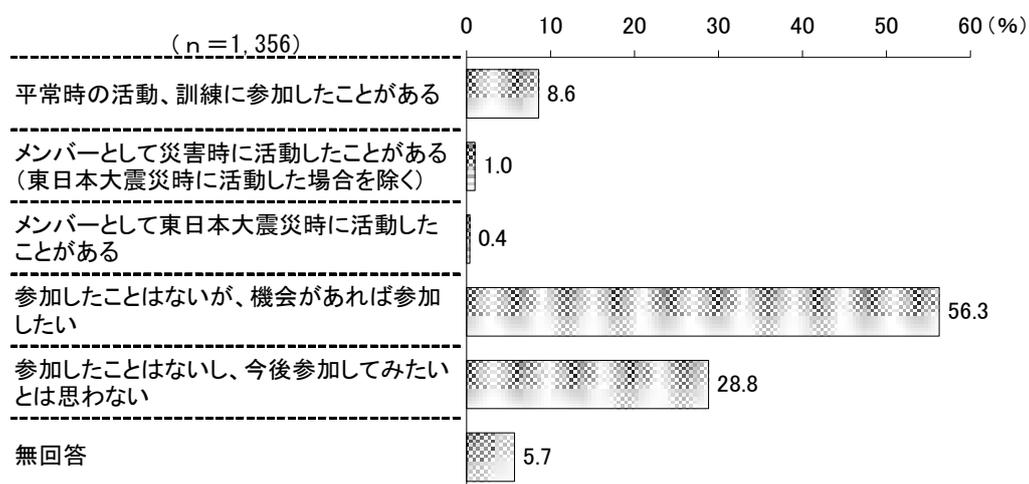
(5) 自主防災組織の活動の参加状況

問21 あなたは、自主防災組織の活動に参加したことがありますか。

次の中からいくつでも選んでください。

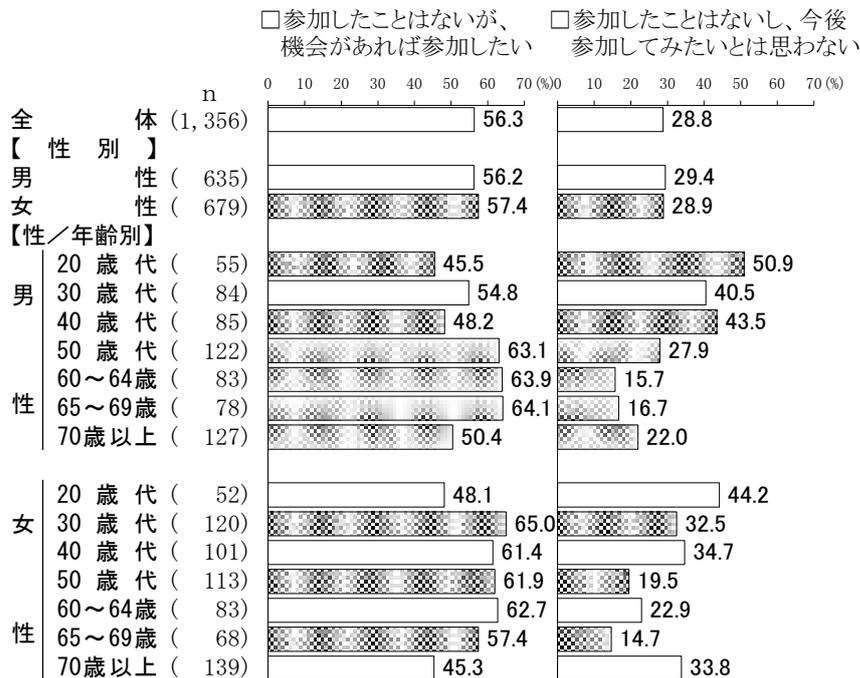
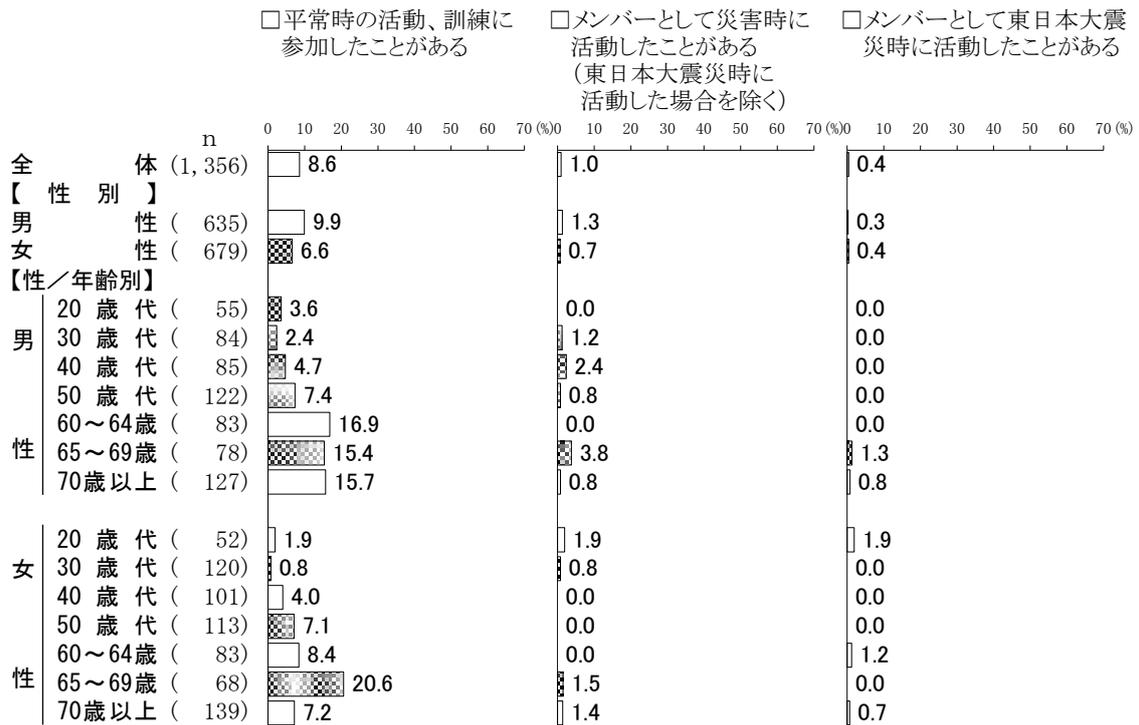
[n=1,356]

1	平常時の活動、訓練に参加したことがある	8.6%
2	メンバーとして東日本大震災時に活動したことがある	0.4
3	メンバーとして災害時に活動したことがある（2で活動した場合を除く）	1.0
4	参加したことはないが、機会があれば参加したい	56.3
5	参加したことはないし、今後参加してみたいとは思わない	28.8
	(無回答)	5.7



全体で見ると、「平常時の活動、訓練に参加したことがある」(8.6%)が1割近くで、これと「メンバーとして災害時に活動したことがある(東日本大震災時に活動した場合を除く)」(1.0%)、「メンバーとして東日本大震災時に活動したことがある」(0.4%)の3つを合わせた『参加経験あり』は9.2%となっている。また、「参加したことはないが、機会があれば参加したい」(56.3%)は5割半ばで、「参加したことはないし、今後参加してみたいとは思わない」(28.8%)は3割近くとなっている。

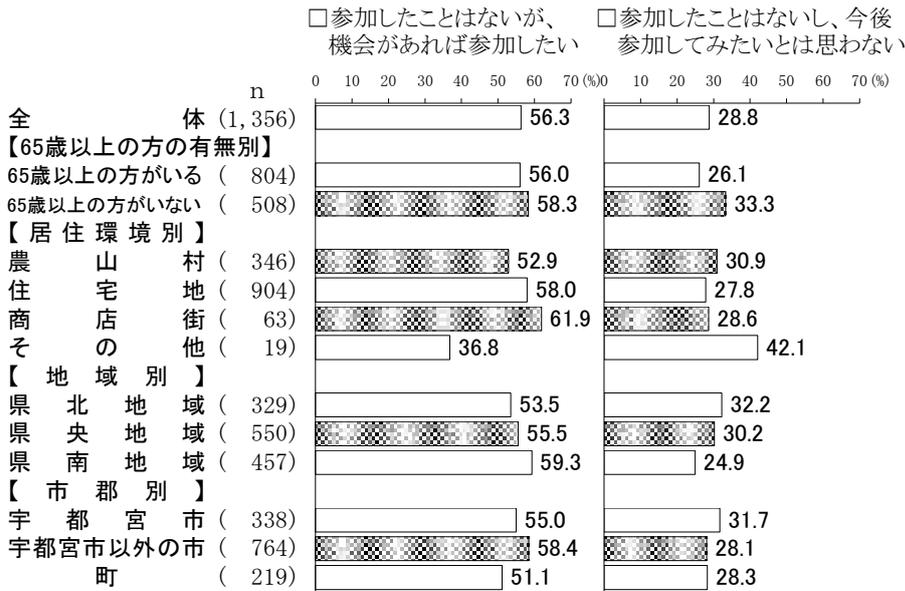
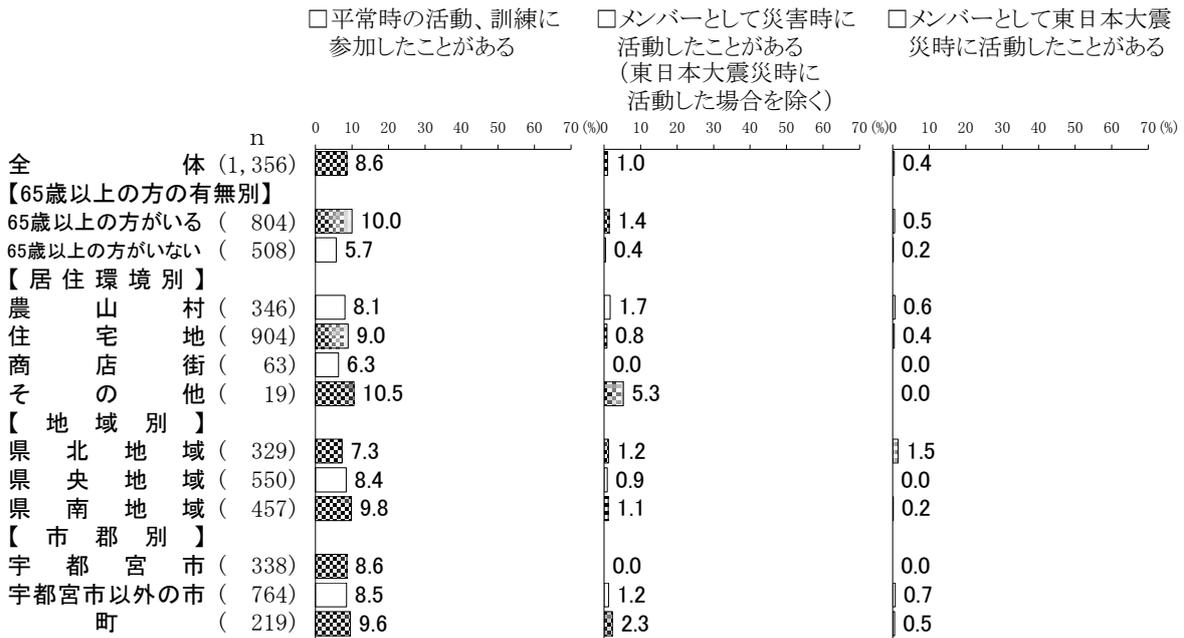
[性別・性／年齢別]



性別でみると、「平常時の活動、訓練に参加したことがある」では〈男性〉(9.9%)が〈女性〉(6.6%)より3.3ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「平常時の活動、訓練に参加したことがある」では〈女性 65~69歳〉(20.6%)がほぼ2割、〈男性の60~64歳以上の各年代〉がいずれも1割半ばとなっている。

[65歳以上の方の有無別・居住環境別・地域別・市郡別]



65歳以上の方の有無別でみると、「平常時の活動、訓練に参加したことがある」では〈65歳以上の方がいる〉(10.0%)が〈65歳以上の方がいない〉(5.7%)より4.3ポイント高くなっている。

居住環境別でみると、「参加したことはないが、機会があれば参加したい」では〈商店街〉が61.9%と高くなっている。

地域別でみると、「参加したことはないが、機会があれば参加したい」では〈県南地域〉が59.3%と高くなっている。

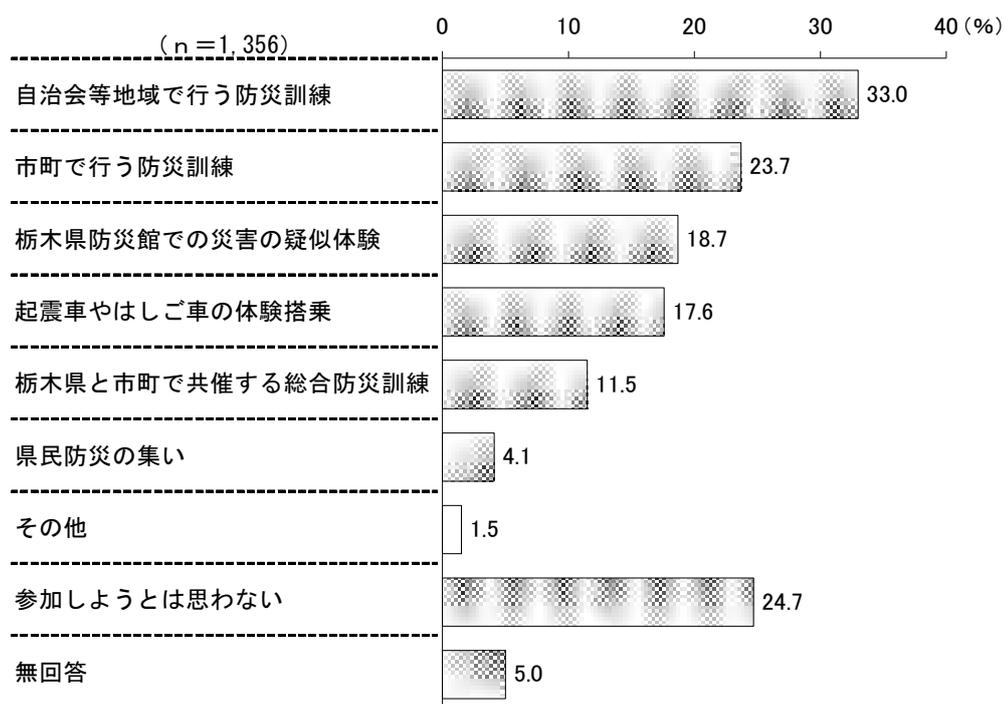
市郡別でみると、「参加したことはないが、機会があれば参加したい」では〈宇都宮市以外の市〉が58.4%と高くなっている。

(6) 防災行事への参加意向

問22 あなたは、今後参加または見学してみたい防災行事がありますか。
次の中からいくつでも選んでください。

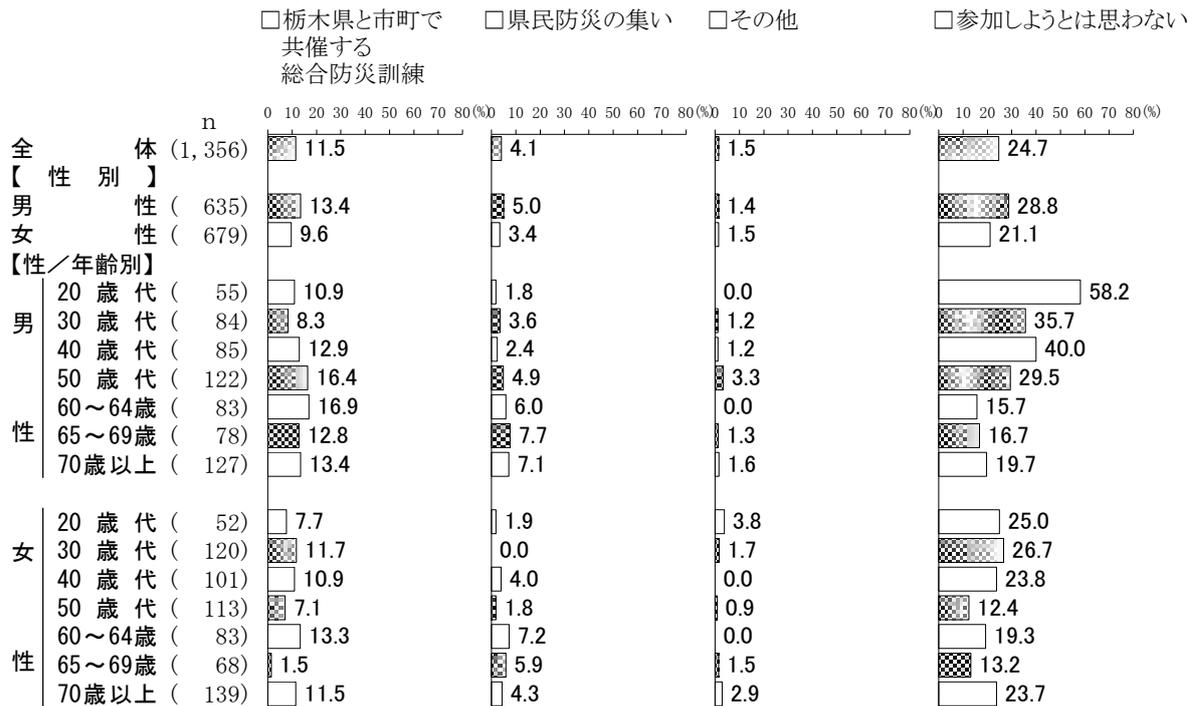
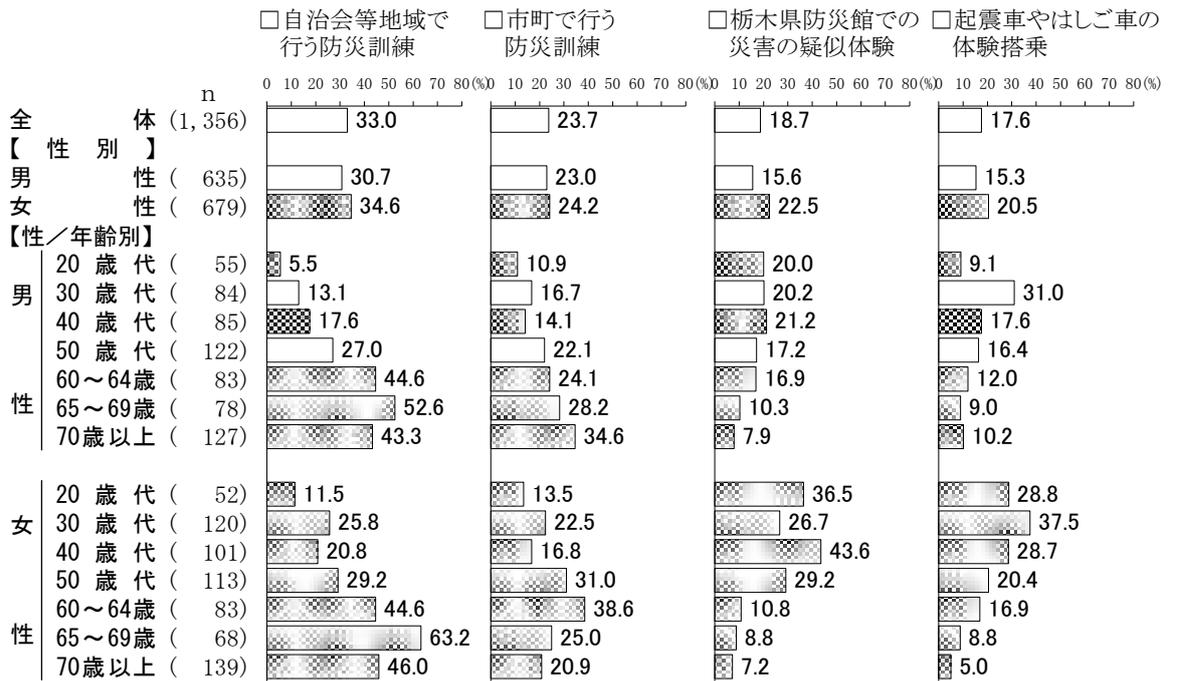
[n=1,356]

1	栃木県と市町で共催する総合防災訓練	11.5%
2	市町で行う防災訓練	23.7
3	自治会等地域で行う防災訓練	33.0
4	起震車やはしご車の体験搭乗	17.6
5	栃木県防災館での災害の疑似体験	18.7
6	県民防災の集い	4.1
7	その他	1.5
8	参加しようとは思わない	24.7
	(無回答)	5.0



全体で見ると、「自治会等地域で行う防災訓練」(33.0%)が3割を超えて最も高く、次いで「市町で行う防災訓練」(23.7%)、「栃木県防災館での災害の疑似体験」(18.7%)、「起震車やはしご車の体験搭乗」(17.6%)、「栃木県と市町で共催する総合防災訓練」(11.5%)の順となっている。「参加しようと思わない」(24.7%)は2割半ばとなっている。

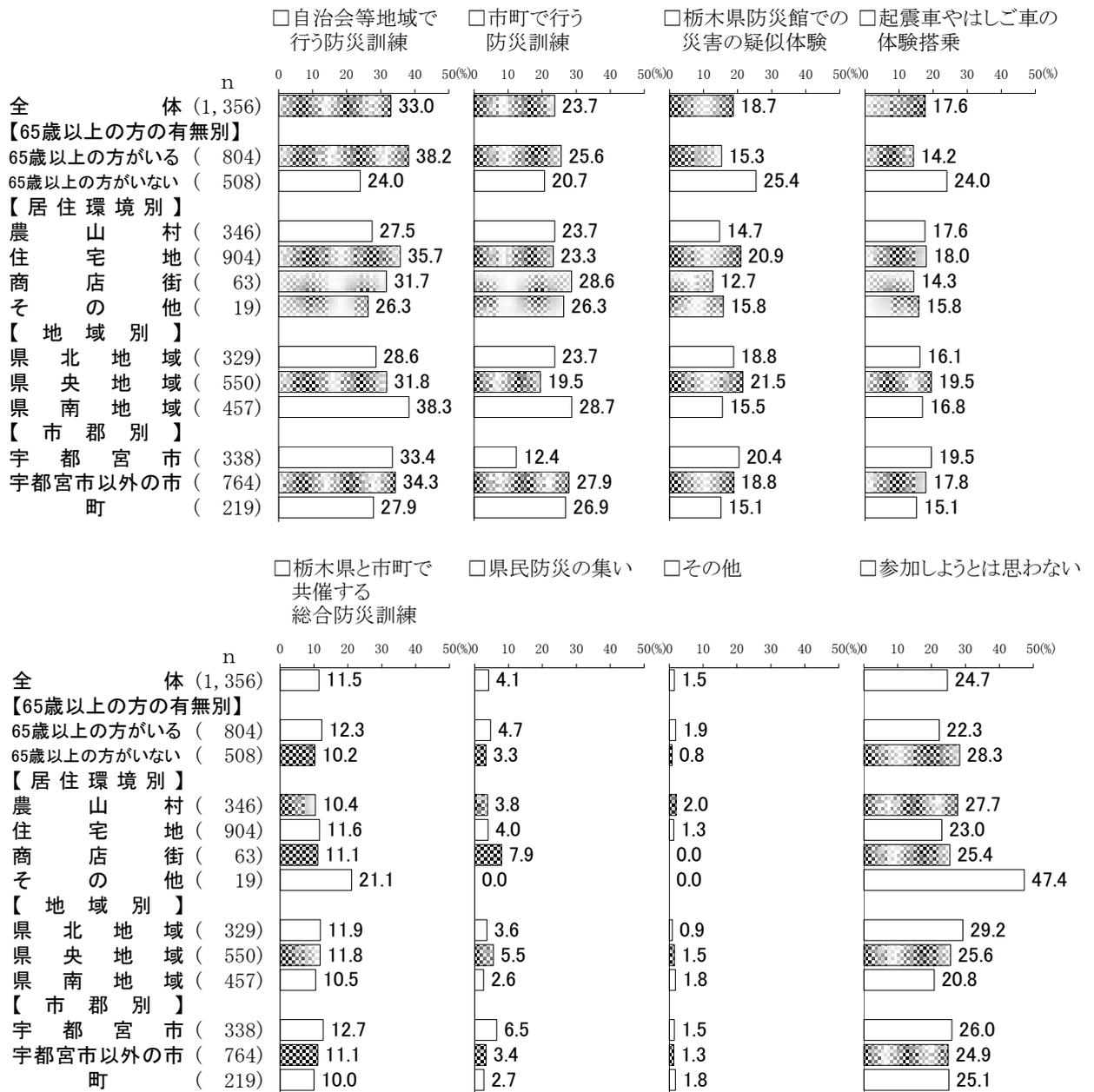
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、「栃木県防災館での災害の疑似体験」では〈女性〉(22.5%)が〈男性〉(15.6%)より6.9ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「自治会等地域で行う防災訓練」では〈女性65~69歳〉が63.2%、「市町で行う防災訓練」では〈女性60~64歳〉が38.6%、「栃木県防災館での災害の疑似体験」では〈女性40歳代〉が43.6%、「起震車やはしご車の体験搭乗」では〈女性30歳代〉が37.5%と高くなっている。

[65歳以上の方の有無別・居住環境別・地域別・市郡別]



65歳以上の方の有無別で見ると、「自治会等地域で行う防災訓練」では〈65歳以上の方がいる〉(38.2%)が〈65歳以上の方がいない〉(24.0%)より14.2ポイント高く、「栃木県防災館での災害の疑似体験」では〈65歳以上の方がいない〉(25.4%)が〈65歳以上の方がいる〉(15.3%)より10.1ポイント高くなっている。

居住環境別で見ると、「自治会等地域で行う防災訓練」では〈住宅地〉が35.7%と高くなっている。

地域別で見ると、「自治会等地域で行う防災訓練」では〈県南地域〉が38.3%、「市町で行う防災訓練」でも〈県南地域〉が28.7%と他の地域に比べて高くなっている。

市郡別で見ると、「市町で行う防災訓練」では〈宇都宮市以外の市〉(27.9%)や〈町〉(26.9%)に比べて、〈宇都宮市〉(12.4%)で割合が低くなっている。